

公益社団法人 呉市シルバー人材センター

呉シルバーだより

健康で働く喜びをみんなでわかち合おう

令和2年度 定時総会(第40回)開催

令和2年度 公益社団法人 呉市シルバー人材センター定時総会が6月12日(金)午後1時30分から、コロナ対策として3密を避けて、呉市シルバー人材センター4階会議室において、会員587名中9名出席(委任状264名、議決権行使書提出者173名)のもと、開催されました。



理事長挨拶

理事長 荒井 和雄

本日、ご出席いただいた役員の皆様には、新型コロナウイルス感染症が完全終息に至っていない中、公益社団法人 呉市シルバー人材センター第40回定時総会にご出席いただき、誠に感謝申し上げます。

また、日頃から、センターの事業運営に対しまして、ご理解・ご協力を賜り重ねてお礼申し上げます。

本年は、当シルバー人材センター設立40周年の記念すべき節目の年を迎えます。本来であれば、定時総会は設立記念式典と兼ねて新日本造機ホールにおいて盛大に開催する予定としておりましたが、感染症のまん延防止のため、このような形で開催することになりました。

さて、新型コロナウイルス感染拡大が世界経済に及ぼす打撃の大きさは「リーマン・ショック」を越える戦後最大の危機と呼ばれています。

平成20年9月のリーマン・ショックでは金融市場の混乱を通じて需要が減少しましたが、今回の「コロナ・ショック」では需要と供給の減少が同時に起き、国民の移動制限により工場の稼働率の落ち込みや観光などサービス業を中心に一気に消費が落ち込みました。これは経済のグローバル化が裏目に出た結果と見られます。

政府の専門家会議において、テレワークや時差出勤といった新しい働き方を定着させる「新しい生活様式」が提言され、5月25日には継続していた5都道県の非常事態宣言も解除されたことにより、感染症の収束へ向けて一歩踏み出したところですが、今後予想される感染の第2波に備える医療体制の整備を始め、引き続き政府には、感染症の早期終息や閉塞した経済の早期回復に向け、企業や国民が抱える不安の声を正面から受け止め、具体的な対応策を迅速に実行していただく事を期待するものです。

次に、高齢者の就業に係る今後の方向性でございますが、昨年6月に閣議決定された政府の「経済運営及び改革の基本方針」では、全世代型社会保障改革に向け70歳までの就業機会の確保が打ち出され、定年廃止、継続雇用制度の導入等による65歳までの安定した雇用の確保、再就職支援の強化を引き続き推進することとしています。

このような生涯現役社会の実現の一翼を担い、活力ある地域社会づくりに貢献するシルバー人材センターの果たすべき役割の期待や重要性は一層大きなものとなっています。

皆様ご存知のとおり、我が国の高齢化率は既に28.1%に達しております。そして、将来人口推計によれば、2025(令和7)年には30.0%、2065年には38.4%まで上昇することが見込まれています。

呉市も例外ではなく高齢化率は、令和2年3月末現在で35.1%(前年比0.3%増)となっております。

これは広島県内の平均28.6%を上回り、近年連続して65歳以上の高齢者人口が増加しています。

このような状況の中、令和元年度の事業実績にありますように、請負等の契約金額は豪雨災害前の平成29年度を超える伸びとなっており、前年度に引き続き黒字となりました。

このことは、会員の皆様のご努力と呉市をはじめとする行政機関、並びに地元企業・団体、更には市民の皆様のご理解・ご協力によるもので、事業はほぼ計画通り進めることができたのではないかと思います。

今後とも、役職員が一丸となって安全就業と適正就業の徹底に努めると共に、就業機会の拡大及び就業率のアップに向けて鋭意努力してまいりますので、今後とも皆様方のご支援・ご協力を宜しく、お願い申し上げます。

また、例年ですと呉市シルバー人材センターの事業発展に尽くしてこられた、会員の皆さまの「永年在籍会員表彰」が行われますが、今回は感染症の収束後に延期させていただきますので、

その際には、ご案内させていただきますので、万障お繰り合わせのうえ、ご出席下さいますようお願い致します。本日は、誠にありがとうございました。

理事 佐藤 正則

新任理事

城川 勝義  
難波 正次  
宮田 市朗  
井川 幸雄  
小川 敏雄  
横玉 良美  
横田 正幸  
天渡 隆彦  
山岡 公昭  
應和 昭昭  
会員十五年

会員二十年

飯原 信二  
坪本 富晴  
中垣 章章  
松本 章章  
会員二十年

会員二十五年

久保 真実  
会員二十五年

会員十年

梶山 正幸  
会員十年

永年勤続表彰者

神田 規昭  
扇田 好昭  
小田 英治  
西田 光一  
森山 令治  
堀安 昭治  
神高 二昇  
高木 博道  
生土 雪春  
隈本 豊宏  
新本 光宏  
袖川 高行  
福上 一郎  
平井 健二  
寺本 利孟  
中村 雅晴  
井上 正晴  
梶山 正幸

令和元年度 収支計算書  
(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

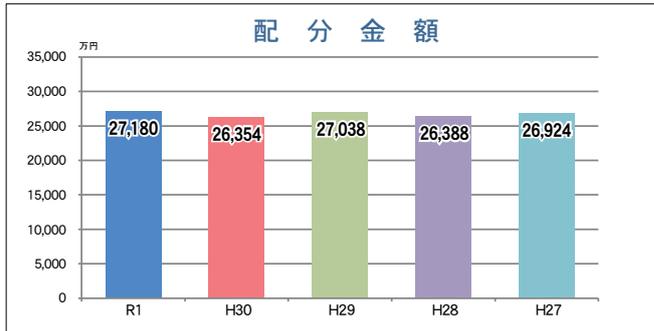
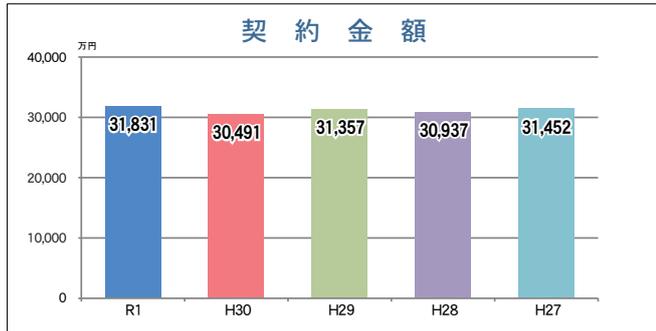
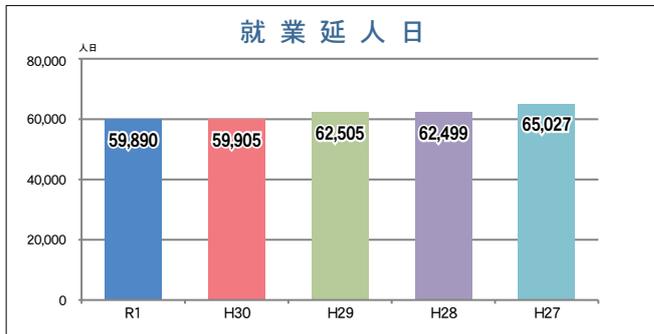
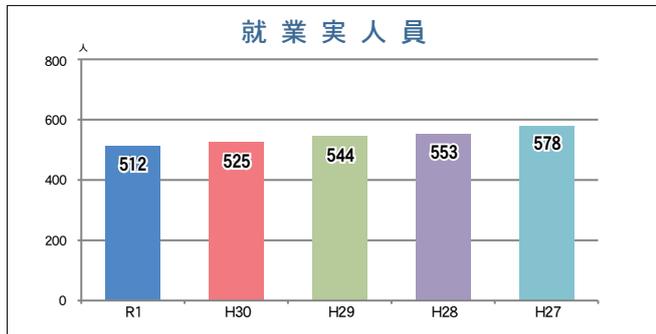
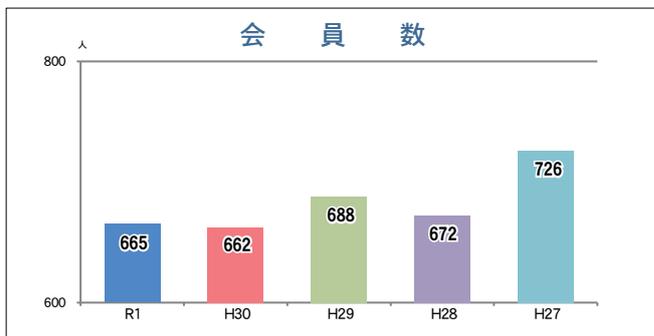
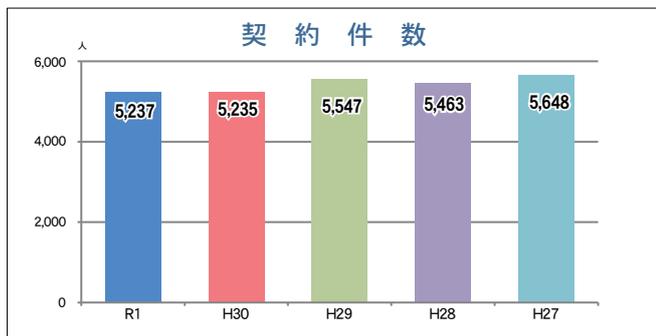
(単位：円)

(単位：円)

科 目	決 算 額	
1. 経常収益の部		
受託事業収益	318,312,349	
労働者派遣事業等受託収益	1,872,192	
受取会費	1,322,000	
受取補助金等	29,039,000	
特定資産運用益	328	
雑収益	679,197	
経常収益計	351,225,066	
2. 経常費用の部	事業費	管理費
支払配分金	271,801,189	0
支払材料費等	19,344,542	0
役員報酬	803,160	385,840
賃金手当	18,505,086	87,601
臨時雇賃金	5,632,337	0
法定福利費	4,219,946	15,110
賞与引当金繰入額	799,090	3,976
退職給付費用	1,522,000	8,000
福利厚生費	304,401	535
会議費	16,253	467,450
旅費交通費	587,030	0
通信運搬費	1,371,639	214,466

科 目	決 算 額	
経常費用の部	事業費	管理費
減価償却費	1,027,478	0
什器備品費	340,141	0
消耗品費	1,861,567	41,205
修繕費	1,189,292	0
印刷製本費	240,890	190,080
光熱水料費	1,122,956	29,717
賃借料	3,245,371	87,231
保険料	4,133,060	47,600
諸謝金	183,870	0
租税公課	362,450	21,000
支払負担金	351,571	9,729
委託費	2,247,503	187,289
教材費	95,000	0
支払手数料	26,904	483
貸倒損失	316,054	0
損害賠償費	834,450	0
雑費	66,605	0
小計	342,551,835	1,797,312
経常費用計	344,349,147	
当期経常増減額	6,875,919	

事業実績対比



令和2年度 収支予算書  
(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(単位:円)

(単位:円)

科 目	予 算 額	
1. 経常収益の部		
受託事業収益	324,283,000	
労働者派遣事業等受託収益	1,280,000	
受取会費	1,323,000	
受取補助金等	29,039,000	
受取寄付金	1,000	
特定資産運用益	1,000	
雑収益	787,000	
経常収益計	356,714,000	
2. 経常費用の部	事業費	管理費
支払配分金	275,030,000	0
支払材料費等	21,136,000	0
役員報酬	582,000	586,000
賃金手当	21,471,000	90,000
臨時雇賃金	4,635,000	0
法定福利費	4,718,000	17,000
賞与引当金繰入額	1,035,000	5,000
退職給付費用	2,293,000	12,000
福利厚生費	307,000	1,000
会議費	922,000	538,000
旅費交通費	598,000	0

科 目	予 算 額	
経常費用の部	事業費	管理費
通信運搬費	1,810,000	269,000
減価償却費	1,256,000	0
什器備品費	305,000	0
消耗品費	2,678,000	58,000
修繕費	1,616,000	0
印刷製本費	1,299,000	199,000
光熱水料費	1,195,000	34,000
賃借料	3,219,000	77,000
保険料	3,489,000	53,000
諸謝金	347,000	0
租税公課	1,160,000	21,000
支払負担金	380,000	12,000
委託費	3,500,000	285,000
教材費	110,000	0
支払手数料	60,000	1,000
貸倒損失	185,000	0
損害賠償費	900,000	0
雑費	214,000	6,000
小計	356,450,000	2,264,000
経常費用計	358,714,000	
当期経常増減額	△ 2,000,000	

令和2年度 事業計画

我が国の人口構成は、世界に類を見ないスピードで高齢化が進展し、「超高齢社会」の到来は大きな社会問題となっています。

呉市の令和元(2019)年9月末日現在の総人口は、22万2,366人(呉市住民基本台帳)、65歳以上の高齢者人口は7万7,663人、高齢化率は34.9%となっており、既に超高齢社会に突入しています。

高齢者を取り巻く社会状況は、政府の策定した「高齢社会対策大綱(平成30年2月16日閣議決定)」にもある通り、年齢を判断基準とせず高齢者に高い就業継続意識がみられる現況を踏まえ、年齢にかかわらず希望に応じ働き続けることが出来るよう環境整備を図ることとなっており、企業の定年延長や再雇用などにより就労環境が大きく変化しています。このような「生涯現役社会」の実現の一翼を担い、活力ある地域社会づくりに貢献するシルバー人材センターの果たすべき役割の期待や重要性は一層大きなものとなっています。

シルバー人材センター事業は「請負・委任」からスタートしており、今後もこれが中心事業であることに変わりありませんが、従来の請負・委任では発注者の要請に応えられない業務が拡大しており、適正就業の面からも派遣事業への取組みの強化が求められています。

高齢者である会員に就労の場を提供する呉市シルバー人材センターは、従来から「生きがい対策」「健康対策」「生活の安定」「地域社会発展の下支え」を目的として事業を展開しています。

これらの目的を達成するため、人手不足や現役世代を支える分野の就業を促進するため、国が補助事業として強く進めている「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」を今年度も推進してまいります。

これは、企業の人手不足分野や、現役世代を支える分野すなわち早朝・深夜業務や子育て支援等、就労しにくい業務や若い働き手をサポートする分野で会員の就業を行うものです。これらを含め、多くの分野で請負業務、そして新たな派遣業務の確保に向けて、本年度も次の方策を推進してまいります。

① 会員の拡充

会員の減少に歯止めがかからない要因として、企業における65歳までの継続雇用制度の定着に伴い入会時の年齢が従来の60歳前半から65歳を超える層となっていることが考えられます。

会員の拡大を図ることは、今後のシルバー事業の維持・発展に不可欠であり、特に少子高齢化に対応した福祉・家事援助サービス分野での女性会員の拡大が求められています。

このため従来から行っている街頭キャンペーン及び各種研修会の開催などを通じて、機会あるごとに「会員募集用チラシ」の配布を行い市民への周知に努めます。

なお、昨年度に引き続き、広島県連合会が主催するRCCテレビなどメディアを活用した広報活動に参画し、会員の拡大に努めます。

② 就業開拓及び就業率の向上

会員の拡大とともに就業開拓は、センターの維持発展のための車の両輪のようなものであり、官公庁の指定管理制度の導入による受注増を補うため、「仕事募集用チラシ」を配布するなど、受注増加を図り就業率の向上に努めます。

また、「分かち合い事業」を推進し、一人でも多くの会員が就業

できるように、就業率の向上を図ります。

③ 独自事業の推進・開拓

「再生自転車の販売」事業については、会員の就業機会の確保と資源の再利用のため引き続き継続し、拡充強化を図ります。

新たな事業の開拓について、引き続き独自事業の創生を図るため、会員の皆様からの積極的な提案や提言をいただき検討していきます。

④ 安全・適正就業の推進

安全就業はセンターの最重要課題です。「安全は全てに優先する」というスローガンに基づき、会員の安全意識の高揚と就業中の事故防止、就業途上の交通事故防止に組織を挙げて全力で取り組みます。

- ・安全パトロールの強化
- ・安全就業強化月間の取り組みの実施
- ・交通安全講習会の実施
- ・安全就業講習会の実施
- ・就業前ミーティングの実施
- ・安全標語の募集の実施
- ・ヒヤリ・ハット体験事例の募集

適正就業については、法令遵守の徹底による適正就業を図るとともに、ローテーション就業の促進、長期継続就業の解消に努め、就業の適正化を図ります。

⑤ 研修会・講習会の開催

各種研修会・講習会を実施して、会員一人ひとりの知識や技能の習得、向上を図るとともに、ホームページや市広報紙により募集し、会員の拡大や就業率の向上に努めます。

また、広島県シルバー人材センター連合会主催の「高齢者活躍人材確保育成事業」技能講習会の地元開催、また他地区での講習会を積極的に受講するよう広く市民に情報発信し会員の確保に努めます。

⑥ 労働者派遣事業の推進

国の補助事業「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」を活用し、発注者の指揮命令や社員との混在就業が可能となる「労働者派遣事業」を広島県シルバー人材センター連合会と連携し推進していきます。

⑦ 福祉・家事援助サービス事業の推進

女性会員の拡大、就業率の向上には、福祉・家事援助サービス及び子育て支援など女性会員に適した業務の拡大が不可欠です。

昨年度に引き続き、呉市が行う「支え合いホームヘルプサービス事業」に参画するなど、福祉・家事援助サービス及び子育て支援の就業開拓に積極的に取り組みます。

⑧ 普及啓発活動の推進

シルバー人材センター事業への理解と協力を得るため、例年10月の「全国普及啓発促進月間」をはじめとする各種行事を活用し、市民を対象にパンフレット、チラシなどを配布する普及啓発活動を行います。また、会員の協力を得て「呉海軍墓地」の剪定・清掃奉仕などボランティア活動を行い、シルバー人材センターのPRに努めます。

⑨ 職業紹介事業の実施

臨時的かつ短期的な仕事又はその他の軽易な業務に係る仕事の求人を受け付け、会員に紹介する有料職業紹介事業を行います。

# 令和2年度 安全就業全国統一スローガン

## 「いつまでも 働く喜び 無事故から」

安全就業の強化活動の一環として募集した中より優秀作品が選ばれました。

### 安全標語の優秀作品

- 安全は 常に基本の 繰り返し  
会員番号 4250 生土 雪春
- お互いに 声かけ合って 安全就業  
会員番号 3962 伊藤 春子
- 今日も又 無事の帰りを 待つ家族  
会員番号 1539 三好 博子

### 年度別傷害事故・損害事故発生状況

区分 年度	傷害事故件数			損害事故 件数
	就業中	通勤途中	計	
H29年度	8	2	10	14
H30年度	3	2	5	10
R元年度	8	0	8	6

#### R1 傷害事故の内訳

入院	3
通院	5
計	8

剪定・伐採	3
除草	2
その他	3
計	8

#### R1 損害事故の内訳

除草	3
その他	3
計	6

### 草刈機取扱講習会

令和2年4月16日～17日、16名の参加で草刈り機取扱講習が行われました。一般参加者10名のうち8名が新規入会されました。



### 剪定・清掃奉仕活動

令和2年9月16日(水) 公益財団法人呉海軍墓地顕彰保存会からの依頼による「呉海軍墓地剪定・清掃奉仕」作業を、会員90名が参加し行いました。「呉海軍墓地合同追悼式」にあわせて公園周辺をきれいにするもので、全国から来られる遺族の方々をはじめ、参列者の皆さんが気持ちよく式典に臨まれるようにと毎年行っているものです。呉海軍墓地の関係者の皆さんには大変喜ばれ、例年、丁寧なる感謝の言葉をいただいております。



### 緊急連絡先

● 平日 (8:30~17:15) 事務局へ連絡 ☎ 21-6611

● 休日・就業時間外

公園清掃・大工・左官・塗装等

担当 栗原 ☎ 090-7129-9644

安浦連絡事務所

☎ 84-7866

植木剪定・再生自転車等

担当 大丸 ☎ 090-7129-9645

担当 大番

☎ 080-1632-7227

草刈・屋外清掃・襖・分別等

担当 飯田 ☎ 090-7129-9646

音戸連絡事務所

☎ 51-2911

事務・筆耕・管理・軽作業・家事サービス・パソコン指導・イベント型育児支援・派遣事業等

担当 大崎 ☎ 090-7129-9643

担当 植木

☎ 080-1632-7228

事務局長 平川

☎ 090-2298-6089

### 職員の異動

職員の異動がありました。よろしくお願ひ致します。

#### 新任職員

安浦連絡事務所	大番 徳昌	R2.4.1付 就任
音戸連絡事務所	植木 稔	R2.4.1付 就任

#### 退職職員

安浦連絡事務所	小森ひとみ	R2.6.30付 退職
音戸連絡事務所	高杉 敏治	R2.3.31付 退職

# 会員募集

## あなたの知識と経験を生かして、 仲間と一緒に楽しく働いてみませんか!

シルバー人材センターとは、高齢者にふさわしい仕事を家庭・事業所・公共団体から引受け、会員の皆さんに提供する、広島県知事から認定された公益社団法人です。

### 会員になるには

## 原則として60歳以上の健康で働く意欲のある方

※剪定・草刈・除草・家事援助などの作業を希望される方、大歓迎です。

手続を問い合わせる

シルバー事務所を訪れるか  
電話で問い合わせる

入会申込書を提出

自分のできる仕事・自分が  
したい仕事を登録

仕事をする

事務局から就業について  
連絡が来る

### 安全・適正就業について

センターには、会員の総意により定められた就業規則があります。もし、万一の事故等が発生した場合は、シルバー傷害保険等（障害・賠償責任）で対応します。

### 技能を必要とする分野

- ◆植木剪定
- ◆塗装
- ◆大工・左官
- ◆網戸張替  
など

※経験がなくても、新人のための講習を行います。



### 事務分野

- ◆毛筆筆耕
- ◆受付事務
- ◆文書整理
- ◆調査事務  
など



### 屋内外の一般作業

- ◆公園清掃
- ◆園芸
- ◆除草・草刈
- ◆包装  
など



### 専門技術分野

- ◆パソコン指導
- ◆経理事務  
など



### 折衝・外交の分野

- ◆広報等の配布
- ◆チラシの配布  
など



### 管理分野

- ◆駐車場管理
- ◆施設管理  
など



### サービス分野

- ◆高齢者サービス
- ◆家事援助  
など



## 安全標語の募集

令和二年度「安全就業強化月間」活動の一環として、会員すべての安全意識の高揚を図るため、安全標語を募集いたします。

### 募集テーマ

会員の安全意識を啓発する内容

### 応募方法

一人一句以上で未発表のものとし、住所、氏名を明記して葉書又は封書で事務局へ四月末までに送付してください。

## ヒヤリハットの募集

会員の皆さんの就業途上及び就業中に、「ヒヤ・ハツ」とした経験や発生原因、発生防止対策等を募集します。

その経験内容等を分析し、会員の事故防止に役立てていきたいと思えます。

### 応募方法

体験事例用紙に記入し事務局へ提出してください。

多くの会員の皆さんからの応募をお待ちしております。

# 仕事募集

## こんな仕事は シルバー人材センターに おまかせください

- ① 植木の手入れ・剪定
- ② 除草  
機械刈りと草取りがあります。(ご予約はお早めに)
- ③ 障子・襖の張替え
- ④ 網戸の張替え
- ⑤ 大工左官仕事  
ベランダ作りや床の張替えなど
- ⑥ 塗装
- ⑦ 波板の張替え 1階のみ
- ⑧ 舗装
- ⑨ 庭掃除・水やり
- ⑩ 浴室・トイレの掃除
- ⑪ 家事全般のお手伝い  
住居内外の掃除
- ⑫ 家具等の移動  
同じフロアのみ
- ⑬ 洗たく
- ⑭ ガラス拭き 1階のみ
- ⑮ 賞状書き・あて名書き
- ⑯ 名刺・年賀状の作成  
パソコン指導
- ⑰ チラシ配布



**10月**  
第3土曜日

**シルバーの日**

**10月17日(土)**

毎年10月は「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」として全国的に普及啓発活動が実施されます。当センターも、シルバー組織のPRと会員拡大のため月内に街頭キャンペーンを実施する予定です。

※会社等の駐車場管理、建物管理、受付事務、事務整理、発送準備等、その他の仕事もお相談ください。

- 高齢者の安全に配慮して、危険・有害な仕事はお引き受けできない場合もあります。
- 職種により季節的に集中する場合は、多少お待ちいただく場合もあります。

公益社団法人 **呉市シルバー人材センター**  
 呉市伏原1丁目4番25号  
 電話 0823-21-6611 FAX 0823-23-8606  
<http://www.sjc.ne.jp/kure/>